

研究評価と機関リポジトリ

信州大学の学術総合システムSOARとは

岩井雅史(信州大学附属図書館)

2007年11月8日 パシフィコ横浜
第9回図書館総合展フォーラム

評価をめぐる状況

- 大学機関別認証評価の義務付け(2004～)
- 文科省による国立大学法人評価
 - 業績評価制度の確立状況が、法人評価に反映されている
 - 運営費交付金にも影響？



評価の重要性が高まっている

大学として取り組むべき方向

対外的に：
評価を高める

内部的に：
評価に必要な
データを集める

(「すぐれた研究をおこなう」以外に)
研究が多くの人目に触れるようにする

- これまでなかった読者の獲得
- 産業界などとのつながりのチャンス

- 集めるための工夫
(研究者の負担軽減)
- 1回の入力で複数の用途に活用できるデータ
- 項目の追加変更に伴うデータベースの維持管理コスト

機関リポジトリ

1. 学術コミュニケーションのシステム改革における重要な構成要素を提供
2. 大学の質に関する具体的な指標として役立ち、その研究活動の科学的、社会的そして経済的な関与を示し、研究機関の認知度、地位及び公共的な価値を増す可能性を持つ

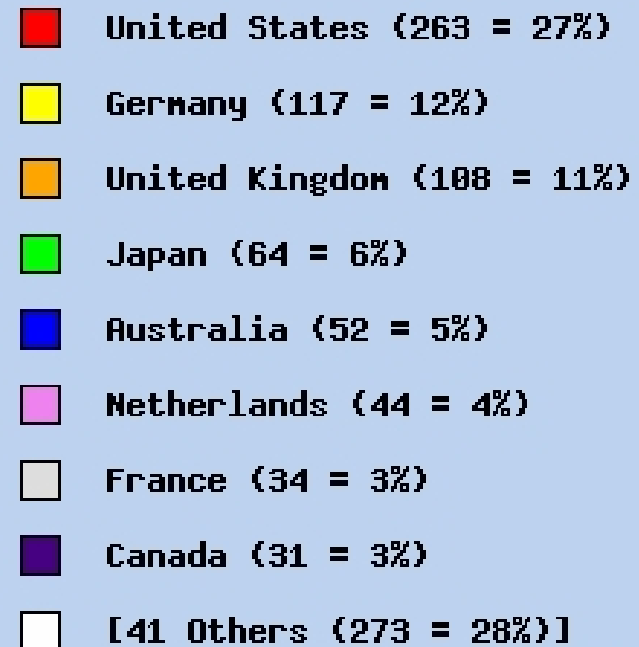
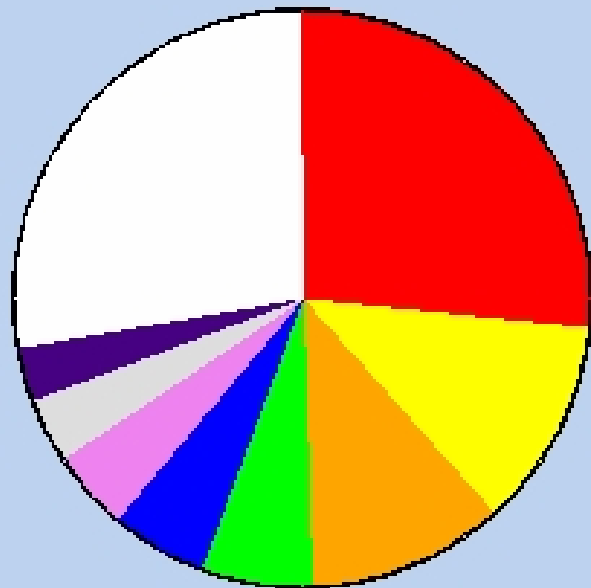
(Crow, R.(2002) 機関リポジトリ擁護論：SPARC声明書. 栗山正光訳.
http://www.tokiwa.ac.jp/~mtkuri/translations/case_for_ir_jptr.html)

機関リポジトリ

- 研究者が雑誌等に発表した論文を、著者の所属機関において、電子的に保存し、無料で公開するもの
- オープンアクセス運動の一環ともなっている
 - オープンアクセス: オンラインで制約なしで利用できる学術成果
 - オープンアクセスジャーナルと対置される(雑誌自体がオープンアクセス / 費用は著者負担)

世界のリポジトリ

Proportion of Repositories by Country
Worldwide

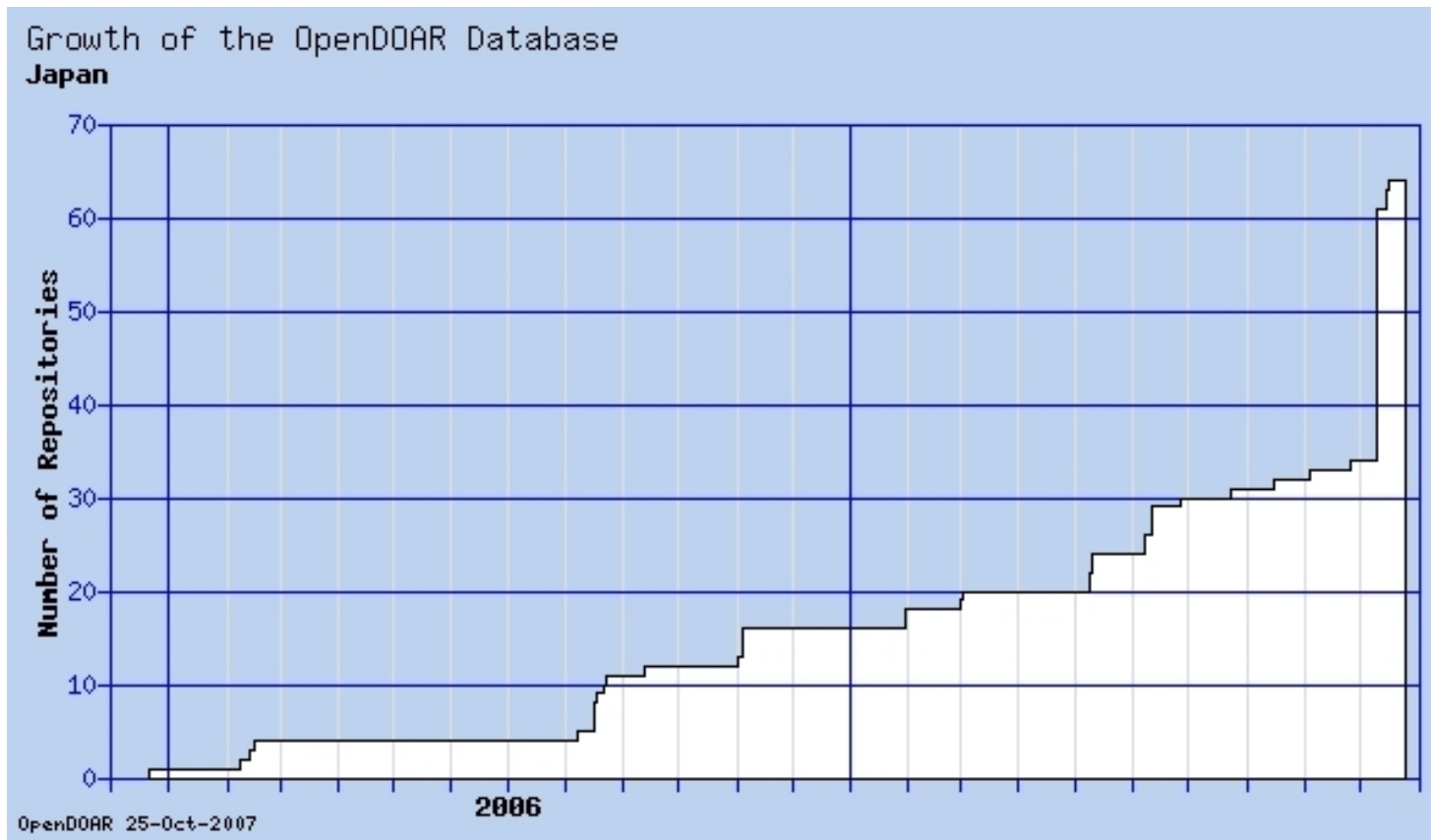


OpenDOAR 25-Oct-2007

Total = 986 repositories

出典 OpenDOAR <http://www.opendoar.org/> (accessed 2007-10-25)

日本のリポジトリ



出典 OpenDOAR <http://www.opendoar.org/> (accessed 2007-10-25)

日本のリポジトリ

- 国立情報学研究所による推進
 - 2004 学術機関リポジトリ構築ソフトウェア実装
実験プロジェクト 6大学
 - 2005 CSI委託事業 19大学
 - 2006 CSI委託事業 57大学
 - 2007 CSI委託事業 70大学

(リポジトリのリスト)

- <http://www.nii.ac.jp/irp/info/list.html>
- http://www.openaccessjapan.com/archives/2006/01/post_87.html

リポジトリのメリット

- 機関リポジトリのサイト上で多く見られるもの
 - 大学や研究の認知度・視認性アップ
 - 恒久的な保管・大学のアーカイブ
 - 社会への説明責任
 - 被引用の増加
 - 学術成果の新たな発信ルート
 - 大学のブランド力強化

被引用数アップ？

”オープンアクセスになっている論文は、
そうでない論文に比べて被引用数が高い”

- これ自体は確からしい
- が、要因はOAであること自体ではない？
 - Early View Effect: 出版社版より早く公開されることによる効果 (ArXivなどのプレプリント)
 - Quality Bias: 著者が自信のある論文を選んでオープンアクセスにすることによる効果
- 現在、論争が続いている

認知度・視認性のアップ

- 研究成果に誰でもアクセスできる
EJ非購読層にも研究成果が届く
- 多数の雑誌に分散していた大学の研究成果
を、まとまった形で公開
- 学術情報の新たな発信ルート
今まで見えにくかった報告書やデータなど

研究評価へのリポジトリの活用

- Research Assessment Exercise (英)
- Research Quality Framework (豪)
- Performance Based Research Fund (NZ)

- 研究者毎に一定数(例えば4件まで)の研究
成果を提出し、同分野の研究者が評価する
- 評価は研究費の配分などに活用される

研究評価へのリポジトリの活用

- IRRAプロジェクト(英国)
 - Institutional Repositories & Research Assessment
 - <http://irra.eprints.org/>
 - JISCの助成を受けて、機関リポジトリのRAEへの応用を研究
 - EPrints, DSpaceに、RAE対応機能を組み込むための追加プログラム "Bronze", "Silver" を開発

研究評価におけるリポジトリ活用例

| | |
|------|---|
| 研究者 | リポジトリに論文本文をアーカイブ 自己評価を大学に提出 |
| 大学 | 提出された自己評価を(現物を見ながら) チェックした上で、評価機関にリストを申請 申請論文リストの管理 |
| 評価機関 | 受け取ったリストをもとに評価員に依頼 |
| 評価員 | 受け取った書誌事項を元に本文にアクセス してレビュー |

赤字がリポジトリを活用する部分

リポジトリを使った評価のメリット

- 著者
 - 評価対象の論文の永続的保管
 - リポジトリからのダウンロード数による潜在的インパクトの推定
- 大学・機関
 - 自大学の評価対象論文を一元管理
 - 著者に対して論文登録のインセンティブを与え、収集が容易に
- 評価者
 - 評価手続きの簡便さ
(ただし出版社版が掲載されている必要?)
 - 評価が適切かどうかの検証が誰でも可能に

RAE等の研究評価についての参考文献

- 岩田末廣. RAE2008に向けて:UKにおける研究評価事業. 大学評価・学位研究. 2007, No. 5, 137-159.
- Repositories and RAE Submission: an Information and Discussion Meeting. Southampton, UK, 7 April 2006. <http://irra.eprints.org/bcsmeet.html>, (2007-10-30)
- Haddow, G. Australian research libraries and the Research Quality Framework. CLICK06: ALIA 2006 Biennial Conference, Perth, Western Australia, September 2006. <http://conferences.alia.org.au/alia2006/>, (2007-10-30)

リポジトリ単体での限界

- コンテンツ提供へのモチベーションをどう高めるか
 - 研究者にとって負担となる作業
- 研究業績以外のデータの管理
 - 「評価」は研究だけではない！
 - 教育活動、社会活動、産学連携...
リポジトリで全てを集約できるか？

研究者総覧・業績データベース

- 所属研究者の研究業績一覧
- 経歴、共同研究実績、外部資金獲得実績、社会活動実績、役員歴などの情報も公開
- データの公開/非公開のコントロール
 - 公開できるデータもできないデータも、一箇所に集約することが可能となる
- 業績評価のツールとしても活用可能

研究者総覧とリポジトリとの連携

研究者総覧



業績：
論文A
論文B
論文C
研究テーマ
共同研究実績：
etc..



業績：
論文C
論文D
研究テーマ：
共同研究実績：
etc..

機関リポジトリ



論文A



論文B



論文C

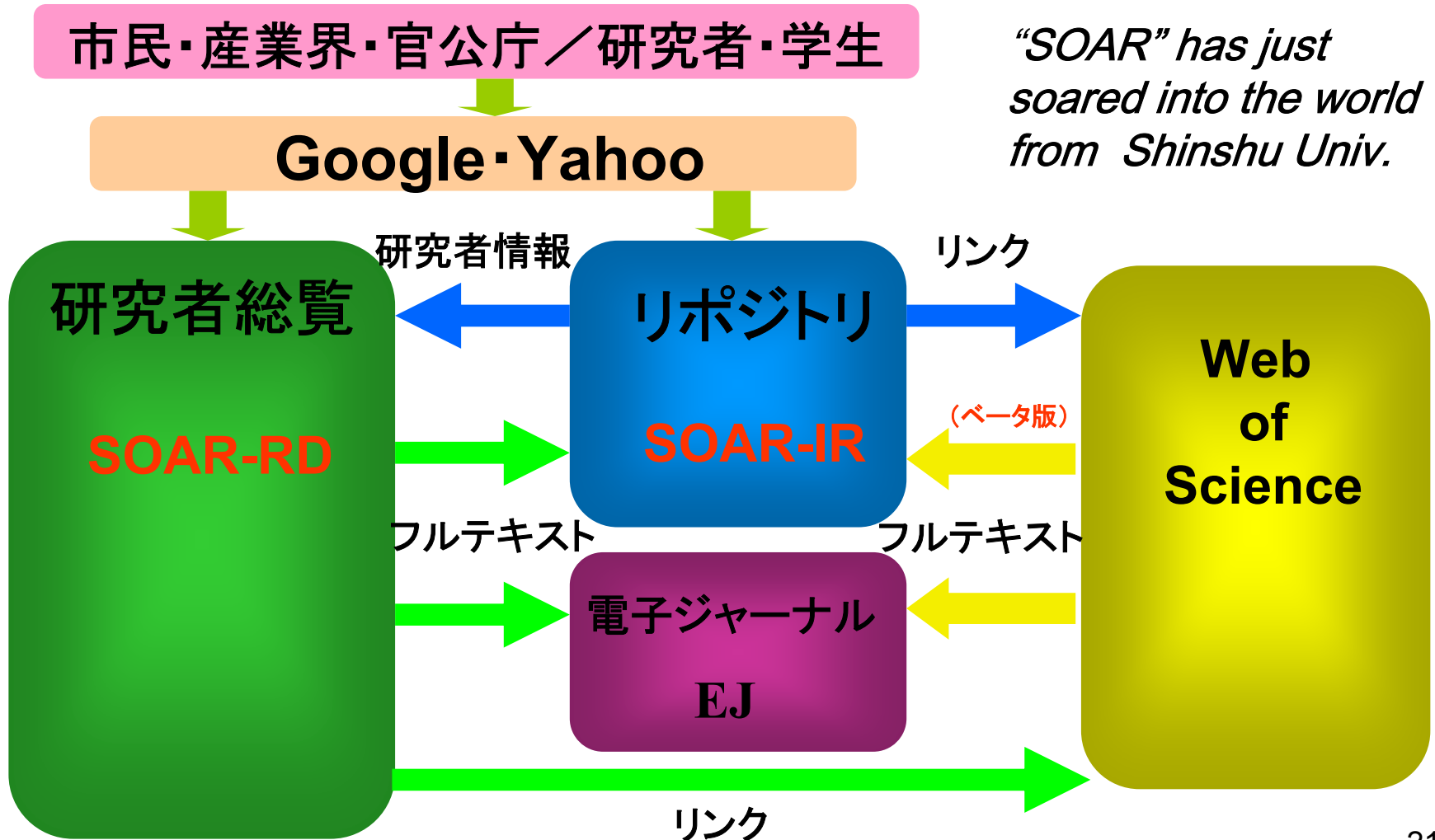


論文D

連携による効用

- 業績リストから即業績本体にアクセスできる
 - ショーケースとしての効果がアップ
- 芋づる式に文献を発信
 - 同じ著者の別論文→その共著者の論文→...
といった過程が、リンクをたどるだけで可能
- リポジトリに論文を提供するインセンティブ
 - リポジトリに論文を入れると、研究者総覧へも自動的に業績データが入る

SOARの概念図



信州大学の開発方針

- 総合的学術システム
 - 学内の最新の学術情報環境を整備すると共に研究者の研究成果・研究活動を広く国内外に発信
- XML技術による開発
 - 柔軟で拡張性のある新しい研究者総覧システム
- 学術コミュニティへの貢献
 - 開発システムのコア部分(どの大学でも共通的に利用できる部分)を無償で広く提供し学術コミュニティへ貢献する

信州大学の中期目標・中期計画

- 2 研究に関する目標
 - (1)研究水準及び研究の成果等に関する目標
【成果の社会への還元等に関する基本方針】
3)研究成果を学内外へ積極的に発信するとともに産学官連携活動等を一層推進する。
- 2 研究に関する目標を達成するための措置
 - (1)研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置
【成果の社会への還元等に関する具体的方策】
3)研究理念・目標, 研究成果と意義, 研究者の研究概要等を分かり易く工夫し, 電子情報やメディアを通して, 教職員, 学生及び広く学外へ情報発信し, 研究成果の社会への還元に努める。

XMLデータベースの理由

- 公開項目の追加・変更のためのメンテナンスにかかるコストが低い
 - 研究者データベースに必要な情報項目は、大学内外の情勢によって変化が激しい
- XMLDB⇔Excel 技術の活用
 - 入力をExcelファイルによることで、画面数削減と入カインタフェースの親和性を両立

その他工夫点

- Googleからの利用を前提としたサイト構成
 - SOAR全体のトップページ・ポータルを設けない
- LDAP認証を活用
 - 研究者側はIDの一元化
 - 運用側はユーザ管理の省力化

プロジェクトの経過

| | |
|------------|--|
| 18.6 | CSI事業 領域1で採択 |
| 18.9 | 役員会・教育研究評議会でSOAR構想を承認 野村理事(広報・情報担当, 附属図書館長)のもと 全学WG設置(図書館が事務局) |
| 18.10~12 | 5回にわたるWGでシステム設計が決定 |
| 18.11~19.3 | 各学部での説明会実施 |
| 19.3 | 拡大役員会で運用管理規程承認 試験運用スタート |
| 19.8 | 正式運用スタート 無償提供開始 |

実装画面(研究者総覧)

The screenshot shows a web browser window titled "Shinshu University Researcher Directory - Windows Internet Explorer". The address bar shows the URL "http://soar-rd.shinshu-u.ac.jp/soar/home.do?lng=ja". The page features the SOAR logo and navigation links for "JAPANESE" and "ENGLISH". A search box contains the keyword "electroluminescence" and a "検索" (Search) button. Below the search box, a message reads "▼クリックすると所属する研究者を表示します。" (Click to display researchers belonging to the department). A grid of department names is displayed, including:

- 人文学部
- 教育学部
- 経済学部
- 理学部
- 医学部
- 工学部
- 農学部
- 繊維学部
- 医学部附属病院
- 大学院医学研究科
- 健康安全センター
- 大学院工学系研究科
- 大学院農学研究科
- 大学院経済・社会政策科学研究科
- 大学院法曹法務研究科
- 総合情報処理センター
- 地域共同研究センター
- 全学教育機構
- 国際交流センター
- ヒト環境科学研究支援センター
- サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー
- 山岳科学総合研究所
- アドミッションセンター
- 産学官連携推進本部
- カーボン科学研究所
- イノベーション研究・支援センター
- 大学院総合工学系研究科

At the bottom of the page, there are links for "HOME 信州大学 HP お問い合わせ 信州大学附属図書館 HP HELP", a "MEDIATION" logo, and a copyright notice: "Copyright © 2007 Shinshu University. All Rights Reserved." The browser's status bar shows "インターネット" and "100%" zoom.

検索結果一覧

Shinshu University Researcher Directory - Windows Internet Explorer

http://soar-rd.shinshu-u.ac.jp/soar/search.do

Shinshu University Researcher Directory

キーワード [詳細検索](#)

[検索](#)

JAPANESE ENGLISH
Shinshu University Researcher Directory
信州大学研究者総覧

検索結果

検索条件: electroluminescence の検索結果です。
3件中1-3件が表示されています。 [プレビューを表示する](#)

検索結果ページ 1

| No. | 所属 | 職名 | 氏名 | 研究分野 | COE・クラス等 |
|-----|-----------------------|-----|--------------------------------|-----------------------------|----------|
| 1 | 繊維学部 機能高分子学科 高分子 電子化学 | 准教授 | 市川結(イチカワ ムスブ) | 機能材料・デバイス応用物性 | |
| 2 | 繊維学部 機能高分子学科 高分子 電子化学 | 准教授 | 小山俊樹(コヤマ トシキ) | 高分子電子化学エネルギー変換デバイス有機半導体デバイス | |
| 3 | 繊維学部 機能高分子学科 高分子 電子化学 | 教授 | 谷口彬雄(タニグチ ヨシオ) | 有機エレクトロニクス材料有機半導体材料 | |

検索結果ページ 1

HOME 信州大学 HP お問い合わせ 信州大学附属図書館 HP HELP

MEDIA FUSION Web of Science®, Thomson
Copyright © 2007 Shinshu University. All Rights Reserved.

ページが表示されました

インターネット 100%

ヒット箇所のプレビュー表示

Shinshu University Researcher Directory - Windows Internet Explorer
http://soar-rd.shinshu-u.ac.jp/soar/search.do

SOAR
Shinshu University Online System of General Academic Resources

キーワード 詳細検索

JAPANESE ENGLISH
Shinshu University Researcher Directory
信州大学研究者総覧

検索

検索結果

検索条件: electroluminescence の検索結果です。
3件中1-3件が表示されています。

プレビューを隠す

検索結果ページ 1

| No. | 所属 | 職名 | 氏名 | 研究分野 | COE・クラスタ等 |
|--|------------------------|-------|--------------------------------|-----------------------------|-----------|
| 1 | 繊維学部 機能高分子学科 分子電子化学 | 高 准教授 | 市川結(イチカワ ムスブ) | 機能材料・デバイス応用物性 | |
| <p>受賞学術賞 ■ organic and Organic Electroluminescence , High Efficiency a ... New Fluorescent Dyes</p> <p>研究業績(著書・発表論文等) ■ ficient ultraviolet electroluminescence from organic light- ... stract: Keywords: Electroluminescence Spikes of Pulsed Or ... Using Fast Transient Electroluminescence Responses Jpn J. A ... stract: Keywords:</p> | | | | | |
| 2 | 繊維学部 機能高分子学科 分子電子化学 | 高 准教授 | 小山俊樹(コヤマ トシキ) | 高分子電子化学エネルギー変換デバイス有機半導体デバイス | |
| <p>研究業績(著書・発表論文等) ■ tract: Keywords: Electroluminescence of organic light em ... stract: Keywords:</p> | | | | | |
| 3 | 繊維学部 機能高分子学科 分子電子化学 | 高 教授 | 谷口彬雄(タニグチ ヨシオ) | 有機エレクトロニクス材料有機半導体材料 | |
| <p>研究業績(著書・発表論文等) ■ nse of blue organic electroluminescence devices with short ... tional Conference on Electroluminescence of Molecular Materi ... tional Conference on Electroluminescence of Molecular Materi ... tional Conference on Electroluminescence of Molecular Materi ... norganic and Organic Electroluminescence & 2006 Internationa ... tional Conference on Electroluminescence of Molecular Materi ... norganic and Organic Electroluminescence & 2006 Internationa ... norganic and Organic Electroluminescence & 2006 Internationa ... Dynamic Behavior of Electroluminescence from Phospher-Sensi ... ht-Emitting Devices Electroluminescence Conference2004, Lig ... norganic and Organic Electroluminescence (EL'00) 159 2000 Au ... stract: Keywords:</p> | | | | | |

検索結果ページ 1

HOME 信州大学 HP お問い合わせ 信州大学附属図書館 HP HELP

MEDIA FUSION Web of Science®, Thomson Copyright © 2007 Shinshu University. All Rights Reserved.

ページが表示されました インターネット 100%

個人画面

市川結 (繊維学部) / Shinshu University Researcher Directory - Windows Internet Explorer

http://soar-rd.shinshu-u.ac.jp/soar/profile.do?lng=ja&id=WenUjFkV

市川結 (繊維学部) / Shinshu University Researcher Directory

キーワード 詳細検索

JAPANESE ENGLISH
Shinshu University Researcher Directory
信州大学研究者総覧

検索

プロフィール
研究分野
現在の研究課題
所属学会
学歴
受賞学術賞
研究職歴等

市川結 イチカワ ムスブ

■所属部署名 繊維学部 機能高分子学科 高分子電子 ■電話番号 0268-21-5498
 ■職名 准教授 ■FAX番号 0268-21-5413
 ■住所 長野県上田市常田3-15-1 ■メールアドレス musubu@shinshu-u.ac.jp
 ■ホームページ URL http://pec.shinshu-u.ac.jp/musubu/

更新日: 2007/08/01

プロフィール

兼任研究科・学部 大学院総合工学系研究科

研究分野 機能材料・デバイス
応用物性

現在の研究課題 有根太陽電池
 ,2005 -
 高効率発光体
 ,2003 -
 有根レーザー
 ,2000 -
 有根半導体材料科学
 ,2000 -
 有根トランジスタ
 ,2000 -
 有根EL
 ,2000 -

HOME 信州大学 HP お問い合わせ 信州大学附属図書館 HP HELP

ページが表示されました

インターネット 100%

リンクボタンの表示

市川結 (織維学部) / Shinshu University Researcher Directory - Windows Internet Explorer

http://soar-rd.shinshu-u.ac.jp/soar/profile.do?lng=ja&id=WenUjFkV#books_articles_etc

検索

プロフィール
研究分野
現在の研究課題
所属学会
学歴
受賞学術賞
研究職歴等

市川結 イチカワ ムスブ

■所属部署名 織維学部 機能高分子学科 高分子電子 ■電話番号 0268-21-5498
■職名 准教授 ■FAX番号 0268-21-5413
■住所 長野県上田市常田3-15-1 ■メールアドレス musubu@shinshu-u.ac.jp
■ホームページ http://pec.shinshu-u.ac.jp/musubu/
■URL

研究業績(著書・発表論文等)

研究業績
(著書・発表論文等)
研究費
研究諸活動

研究業績(著書・発表論文等)

論文

High-efficiency transparent organic light-emitting diode with one thin layer of nickel oxide on a transparent anode for see-through-display application
Semiconductor Science and Technology 22(1-7):788-792 2007(Jul)
Author:Bin Wei, Sayaka Yamamoto, Musubu Ichikawa, Chongbin Li, Takeshi Fukuda and Yoshio Taniguchi

Intense and efficient ultraviolet electroluminescence from organic light-emitting diodes with fluorinated copper phthalocyanine as hole injection layer
Thin Solid Films 515:3932-3935 2007
Author:M. Ichikawa, K. Kobayashi, T. Koyama, and Y. Taniguchi

Electron transportation with mobility of above 10⁻³ cm²/Vs in amorphous film of co-planar bipyridyl substituted oxadiazole
Phys. Status Solidi RRL 1(1):R37-R39 2007
Author:M. Ichikawa, N. Hiramatsu, N. Yokoyama, T. Miki, S. Narita, T. Koyama, and Y. Taniguchi

High coupling efficiency with optical fiber for microcavity organic light-emitting diode as a light source of optical interconnection
Jpn J. Appl. Phys. 46(2):642-646 2007
Author:T. Fukuda, T. Okada, B. Wei, M. Ichikawa, M. Ohashi, Y. Taniguchi

A highly color stability white organic light-emitting diode by color conversion within hole injection

Web of Science®

Full Record

Title: High-efficiency transparent organic light-emitting diode with one thin layer of nickel oxide on a transparent anode for see-through-display application

Author(s): WEI, BIN, YAMAMOTO, SAYAKA, ICHIKAWA, MUSUBU, LI, CHONGBIN, FUKUDA, TAKESHI, TANIGUCHI, YOSHIO

Source: SEMICONDUCTOR SCIENCE AND TECHNOLOGY 22 (7): 788-792 JUL 2007

Document Type: Article

Language: English

Times Cited: 0

Abstract: Work functions of different species of metal oxide have been investigated. The work function of nickel oxide was found to reach about 4.4 eV, much higher than those of other metal oxides and indium tin oxide (ITO). An improved organic light-emitting diode with a thin layer of nickel oxide (NiO) as an anode was fabricated. The device showed a higher efficiency than the device with ITO as an anode. The current-voltage characteristics were investigated. The maximum efficiency of the device was nearly twice as the device with ITO as an anode. The current-voltage characteristics of the device and the maximum efficiency of the device were investigated. The maximum efficiency of the device and the maximum efficiency of the device were investigated.

Keywords: ELECTRODES; CATHODES

Address: Wei B (present author), Shinshu Univ, Dept Funct Polymer Sci, Nagano 3808527, Japan
E-mail: musubu@shinshu-u.ac.jp

Additional Links

View Record

Export Citation

Full Text

IOP electronic journals

Semiconductor Science and Technology

High-efficiency transparent organic light-emitting diode with one thin layer of nickel oxide on a transparent anode for see-through-display application

Bin Wei et al 2007 Semicond Sci Technol 22 788-792

Find related articles

Search by author

Search by title

Search by keywords

Search by subject

Search by journal

Search by volume

Search by issue

Search by page

Search by date

Search by language

Search by type

Search by status

Search by publisher

Search by doi

Search by url

Search by email

Search by phone

Search by fax

Search by address

Search by city

Search by state

Search by country

Search by continent

Search by world

Search by globe

Search by universe

Search by everything

SOAR

High-efficiency transparent organic light-emitting diode with one thin layer of nickel oxide on a transparent anode for see-through-display application

Wei, B
Yamamoto, S
Ichikawa, M
Li, C
Fukuda, T
Taniguchi, Y

発行日: 2007

誌名: IOP PUBLISHING LTD

ISSN: SEMICONDUCTOR SCIENCE AND TECHNOLOGY 22(1-7): 788-792 (2007)

URL: http://hdl.handle.net/10911/264

DOI: 10.1088/0268-1242/22/7/019

出版元: IOP PUBLISHING LTD

Copyright © 2007 Shinshu University. All Rights Reserved.

リポジトリから研究者総覧へ

Shinshu University Institutional Repository: Item 10091/264 - Windows Internet Explorer

https://soar-ir.shinshu-u.ac.jp/dspace/handle/10091/264

市川結 (繊維学部) / Shinshu University Institut...

Shinshu University Institutional Repository >
080 繊維学部 (Faculty of Textile Science and Technology) >
0801 学術論文 (Journal Articles) >

このアイテムの引用には次の識別子を使用してください: <http://hdl.handle.net/10091/264>

タイトル: High-efficiency transparent organic light-emitting diode with one thin layer of nickel oxide on a transparent anode for semi-transparent display application

著者: Wei, B
Yamamoto, S
Ichikawa, M
Li, C
Fukuda, T
Taniguchi, Y

発行日: Jul-2007

出版者: IOP PUBLISHING LTD

引用: SEMICONDUCTOR SCIENCE AND TECHNOLOGY 22(1-7): 788-792 (2007)

URI: <http://hdl.handle.net/10091/264>

ISSN: 0268-1242

DOI: [10.1088/0268-1242/22/7/019](https://doi.org/10.1088/0268-1242/22/7/019)

出現コレクション: 0801 学術論文 (Journal Articles)

Web of Science®

このアイテムのファイル:

| ファイル | 記述 | サイズ | 形式 |
|--|----|-------|---------------------------------|
| transparent organic light-emitting diode.pdf | | 199Kb | Adobe PDF 見る/開く |

詳細を表示する

Shinshu University Researcher Directory - Windows Internet Explorer

市川結 イチカワ ムスブ

所属: 繊維学部 繊維高分子学科 高分子専攻

〒385-8512 長野県上田市南町1-1-1

TEL: 0268-21-5096

FAX: 0268-21-5463

E-mail: ichikawa@shinshu-u.ac.jp

URL: <http://pec.shinshu-u.ac.jp/musubu/>

更新日: 2007/08/01

プロフィール: 大学院理工学系工学部助教

研究分野: 繊維材料 / ナノ材料 / 応用物理

過去の研究業績: 有機発光電極 2005, 高効率有機EL 2005, 有機LED 2005, 有機半導体材料合成 2005, 有機ELデバイス 2005, 有機EL 2005.

Shinshu University Researcher Directory - Windows Internet Explorer

谷口彬雄 タニグチ ヨシオ

所属: 繊維学部 繊維高分子学科 高分子専攻

〒385-8512 長野県上田市南町1-1-1

TEL: 0268-21-5495

FAX: 0268-21-5088

E-mail: taniguchi@shinshu-u.ac.jp

URL: <http://pec.shinshu-u.ac.jp/hary/>

プロフィール: 大学院理工学系工学部助教

研究分野: 有機EL / ナノ材料 / 有機半導体材料

過去の研究業績: OLED素子 / 有機EL素子, 有機EL素子の材料, フォトニック, 有機半導体材料の合成, 有機半導体材料の合成, フォトニック材料の合成, 有機半導体材料の合成, フォトニック材料の合成, 有機半導体材料の合成, フォトニック材料の合成.

所属学会: 日本化学会, 日本物理学会, 有機EL学会, 有機半導体材料学会, 日本物理学会, 応用物理学会.

学内ポータルから研究者総覧更新

The screenshot shows the ActiveCampus portal interface. The left sidebar contains a navigation menu with the following items:

- SingleSignOn(LDAP等) (Circled in red)
- ActiveMail
- 機関リポトリ
- 研究者総覧更新
- 情報配信 データーページ
- Single Sign On 非対応
- 情報倫理テスト
- キャンパス情報システム
- 全学 e-Learning
- コミュニティー
- お知らせ
- 個人用MLの作成
- パスワード変更
- ホームディレクトリ確認
- ディスク容量確認
- プロフィールクリア
- スケジュール
- リンク
- 信州大学
- 総合情報処理センター
- ☆ google
- ☆ Yahoo Japan
- ☆ MSN
- ☆ excite

The main content area displays a list of notices (お知らせ) and a calendar (スケジュール) for November 2007. The calendar shows the following dates with their corresponding status:

- 11月02日 週の予定
- 10月28日 予定はありません
- 10月29日 予定はありません
- 10月30日 予定はありません
- 10月31日 予定はありません
- 11月01日 予定はありません
- 11月02日 予定はありません
- 11月03日 予定はありません

教員アップダウン画面

name - Windows Internet Explorer

SOAR
Shinshu University Online System of General Academic Resources

Shinshu University Researcher Directory
信州大学研究者総覧

テストユーザ

プロフィール更新

■ 更新データの選択

データシート 更新したデータシート(Excel)を指定してください

顔写真 顔写真(jpegのみ対応)を表示することができます

ファイル選択

ダウンロードサービス

ダウンロードするデータを選択してください。

データシート プロフィール更新・修正用のExcelファイルをダウンロードします。

科研費申請書 申請書作成にて作成した研究費申請書(Word)をダウンロードします。

申請書作成

申請するデータの形式を選択してください。

選択してください

インターネット 100%

無償提供

- コア部分
 - 研究者総覧ウェブ機能一式
 - 研究者総覧用XMLデータベース
 - DSpace用リンク生成モジュール
- ※Excelによる入出力は対象外
- 対象：研究教育機関による研究者総覧用途

お問い合わせ

信州大学附属図書館 SOAR担当

library-soar@shinshu-u.ac.jp

Tel. 0263-37-2185

Fax. 0263-33-5833

SOAR情報発信サイト

<http://shinlis9.shinshu-u.ac.jp/soar/>